

植木をきれいに
しているんだよ



作業中の地域の方にインタビューもできました。



図書館の本やインターネットで事前調査してから、まちに出て
写真を撮ったりメモをとったりしました。



パソコンを使って、発表用の資料づくりをしました。

ここがいい
ところだよ!!



集めた資料や体験したことをもとに、パンフレットづくりや、
おすすめポイントの企画を立てました。地域の魅力が伝わる
ように工夫しました。



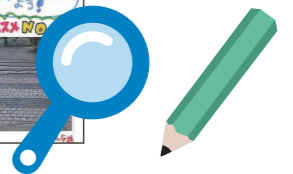
調べたことを紹介しあって、気づかなかったことを発見したり、
共有したりすることができました。

ここでは、モデルプログラムをもとに行った取り組みの様子を掲載しています。実際に取り組んだ学校の授業の様子や先生の声を
事例集で紹介しています。併せてご覧ください。

地域景観 プランナーに なろう

No. 11

場所を決めて、その自然や人々の暮らしを調べ、その
場所の魅力等を紹介するパンフレット等を作成する。



対象学年・関連教科

【対象学年のめやす】

総合的な学習の時間 ● 小学校5年生～中学校3年生

【関連する教科】

- 社会
- 図画工作・美術

地域景観プランナーになろう

1. 学習のねらい

- 場所によって地域・自然・景観のよさが異なることに気づく。
- 自分の暮らす地域と、訪れた場所の地域・自然・景観との違いを知る。
- 自分のまち（地域）のよさについて、人によって考え方や見方に違いがあることを知る。
- 情報収集能力を身につけ、情報を効果的に伝えていく方法を工夫する。
- まちのよさを活かしていくために必要なことを話し合う。

2. 学習活動

- まち（地域）の地理的な特徴、どこにどのような種類の建物が建っているか、どこに農地があり何をいつくっているか、道路や鉄道がどこを通っているか、まち並みなどの様子などを調べ、まち（地域）の特色を考える。
- 郷土資料館を見学するなど、まち（地域）の発展のために昔の人が努力したことを知り、当時の人たちの工夫や苦労に気づく。昔の人の努力が、今のまち（地域）にも残っている場所を見つける。
- まちづくりプランナーに話を聞く。
- 学習の流れ：①事前に訪れるところのイメージをつくる、②訪れる場所の魅力、現地の人々の考えを探る、③訪れた自然・地域について整理し、魅力あるおすすめポイントを企画する、④おすすめポイントのパンフレットをつくる。

3. 準備するもの

【用 具】

- デジタルカメラまたはレンズ付きフィルム（各グループに1台）
- デジタルカメラを使用した場合はプリンタ
- 地域図
- 市販のガイドブック等

【場 所】

- 教室、地域、他地域など

4. 学習の流れ(授業展開のイメージ)

	学習のねらい	学習活動	教師の指導	評価
STEP 1 【2時間】	情報収集などの活動を楽しみながら意欲的に取り組み、地域に関心をもつ	<ul style="list-style-type: none"> ●事前に訪問場所の情報収集を行う。 ●訪問場所で確認したいことなど、取材シートを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●訪れる地域・自然・景観はどんなところか、そこで人々はどのように暮らしているのか、そこで何を体験したいのか、その理由は何かなどを考えるよう促す。 ●取材シートのひな形を用意する。 	活動の意欲 (観察・ワークシート) 課題設定能力 (観察・ワークシート)
STEP 2 【2時間】	活動を通して得た情報や知識を自分の課題に生かす	<ul style="list-style-type: none"> ●現地で、自然や人々の暮らしぶりなどを中心に調べ、体験する。 ●自分の感想を整理する。 ●地域に暮らす人々の誇りや悩みを調べる。 ●取材シートに調査内容を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の地域にはなくて、ここにあるものは何か（その逆）、調べたり体験したりする中で、おもしろい、つまらないと感じたことは何か、その理由は何かなど、些細なことでも興味を惹いたことはないかなどを考えるよう促す。 ●そこに暮らす人々・行政・観光案内所職員等は、その場所をどう考えているのか、そこを訪れた人（観光客など）は、なぜ訪れたのか、その場所をどう思ったのか、自分が感じる魅力を地元の人も感じているのか、地元の人々の思いを聞いてどう感じたか、など考える視点を与える。 	課題追求能力 (観察・ワークシート) コミュニケーション能力 (観察)
STEP 3 【2時間】	活動を通して得た情報や知識をもとにして、地域のよさを見出す	<ul style="list-style-type: none"> ●訪れた場所の魅力や問題点を話し合い、整理する。 ●今後、訪れる人々（学校の後輩や観光客等）のために、各自で回れる1日のおすすめポイントを企画し、発表する。 ●考えたコースや体験の中身を、今後の利用者の気持ちになって見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ポイントのねらい（訪れた人々に何を感じ、考え、知ってもらいたいかなど）、対象者（学校の後輩、一般の観光客、地元の人々等）、対象のニーズ（対象者が興味を持ってくれそうなものは何か、その場所の自然の魅力が満喫できる体験活動は何か等）、地域への貢献（この場所の問題解決に向けて、来訪者が支援できることはないかなど）、具体的なポイント、体験内容、時間配分など、ポイントの企画に関する示唆を与える。 	課題追求能力 (観察・ポートフォリオ) 自己評価力 (観察・ポートフォリオ)
STEP 4 【2時間】	感じたことや気づいたことを、わかりやすく効果的にまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ●設定したポイントの素晴らしい点、案内、ポイントガイドとしてのパンフレットやチラシ等を作成、紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●制作したものを評価する（見やすさ、言いたいことは伝わっているか、手に取ってみたいと思うかなど）。 	表現力 (発表・パンフレット・チラシ)

5. 留意点

- 導入として、ダンボールでつくった額縁でまちの景色を切り取り（構図を決め）、写真に撮り、言葉を添えて発表する（展覧会をする）とよい。
- まち歩きの際の交通安全を確保する。特に、観察中や写真撮影中の児童は周囲への注意が疎かになりがちになるため、安全には十分配慮する。

6. 発展へのヒント

- 祖父母・両親が子どもの頃のまちの様子写真との比較を行う。
- 祖父母・両親が子どもの頃のまちの様子やどこで遊んだかなどを調べ、今のまちと比較して、三世代マップをつくる。
- 他都市からの修学旅行生との交流の機会を持ち、調べた成果を使って自分たちのまちを紹介したり、逆にまちの魅力を教わったりする。